



# ぴよんちゃん通信



福崎町社会福祉協議会  
令和2年6月号

新型コロナ問題がなおも続き、今までのようなぴよんちゃんの活動ができる目途は立ちません。先月も申しましたが、専門家ではないので、活動制限の判断を評価することはできないので、指示を注意深く見ていようと思います。さて、この間、入園したものの休みになってしまった子どもたち、お母さんに仕事があるため、登園を続けているお子さんのうち、何人かから、近況をお聞きしました。「小学生のお姉ちゃんも一緒に、折り紙や切り紙での〈こいのぼりづくり〉が、我が家のブームです。」「寝る前には顔や模様を描いた風船で遊んでいます。」「ビニールのボールで毎日遊んでいたら、バレーボールのように上手く打てるようになっていきました。」「お姉ちゃんは、午前中は勉強の時間と決めていましたが、5月からは、畑の一角を好きなように野菜を育てることに挑戦することになりました。（お父さんは、勉強だけでなく、生産的なこともしないとアカンと言っておられました。）」活動や生活が制限される中ですが、寝る前のひと遊びで、「あ～、楽しかった！」と、いい夢を見ることでしょう。どうか、参考になさってください。子どもたちは、どんな環境にも、適応し逞しく育ちます。6月も、どうか、パニックに巻き込まれないで、予防策は取りつつも、いつものように、子どもたちを見守り、子どもたちのつぶやきや、行動に共感しながら、家庭での生もを愉しんでください。ポチポチとぴよんちゃんの活動を始めましょう。お待ちしております。

**親子クッキング** 6月5日、7月31日も中止です。次回は、10月2日の予定です。

**トランポリンと森のひろば**（第2体育館とスポーツ公園）毎週金曜日、10:00～ 予約なし

準備；お茶、タオル、着替え、マスク（子どもは運動するときは、取りますが、大人はつけてください。）（新型コロナ問題の状況で、実施できない可能性もあります）

【発達を知ろう】 「ステキをみつける保育・療育・子育て」（近藤直子）より

私たちが求めているのは子どもの幸せです。子どもが大人や仲間と心をつなぎ、心がつながった喜びで目を輝かせたとき、私たちも子ども自身もしあわせを実感するのです。私は「発達する」とは、幸せの実感を積み重ねる中で、大人を、仲間を、そして自分を好きになり、よりステキな自分を求めて歩いていくプロセス（過程・手順）だと考えています。より素敵な自分らしい自分（自己実現）を目指して、自分を形づくっていく（自己変革・自己形成）プロセスが発達なのではないでしょうか。だとしたらそれは子どもだけでなく、だれにとっても一生継続していく営みであるということです。発達というと、「できなかったことができるようになること」だと思っている人がいますが「できなかったことができるようになっていくこと」は、心理学では通常「学習」と呼ばれ「発達」とは区別されます。子どもの発達過程においては、いったんできていたことをしなくなることや、「マイナス」に見えることをするようになる現象が見られます。離乳食は食べていたのに、1歳半ば頃から、「特定のもの」以外は食べなくなる子がいます。「選ぶ」力をつけ始めた子どもは「いやなものを選ばなくなる」ため、偏食やこだわりが目立ってくるのです。こうした姿は、「学習を誤った」という単純なものではない。自分にとって受け入れられる「何か」を主体的に選ぶというはるかに複雑な過程なのです。受け入れられる世界が狭いことは、選びたくないものが沢山あるということを意味するわけですから、いやなものに気づき始めた子どもにとってはしんどいことです。選びたくなる世界を広げることが、子どもの生活を楽にするとともに、子どもの内面を豊かなものにします。ところで、「子育ては、誰もが若葉マーク♥」お父さんも、お母さんもです。わからないこと、うまくいかないことがあるのが当たりまえ。だから、家族の周りに、《応援団》が必要。（皆さんあんまり頑張りすぎないでください。子どもたちのかわいい笑顔をふくらますことが出来るように応援していきたいと思っています。）